

26年度 入学式を挙



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞
発行兼 中原 泉
編集日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク

晴れの新生たち

平成二十六年年度の日本歯科大学の入学式は四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

生命歯学部

生命歯学部の部は、四月十日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

定刻午後一時三十分、高橋孝幸庶務部長より開

式が宣せられ、学年主任の砂田勝久教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の菊池憲一郎教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

中原泉学長、羽村章生生命歯学部長、八重垣健大学院生命歯学研究科長が訓辞を述べた(要旨二面)。生命歯学部入学生を代表して山田太陽君、大学院入学生を代表して植松俊樹君が宣誓。ついで



訓辞で学生としての心構えを述べる中原学長(新潟)



クラス主任の点呼に応え、起立する新生たち(東京)

工学部、歯科衛生学、そして専攻科のみならず、それぞれの目標をもって勉強をする。そのときに一番努力するのは、あなたが一人ひとりだ。しかし一人の努力だけではどうしようもないときがある。周りには仲間がいて、同級生たちがお互いに足りないところを補い、優れたところ、得意なところは皆で分け合うという気持ちと行動が大切だろう。生命歯学部と東京短期大学の学生たちは、一緒にクラブ活動をする。生命歯学部の仲間たちとも一緒に学んで成長し、これからの学校生活を楽しみながら、目標に向って頑張っていた「だいたい」と述べた。

つぎに三代冬彦附属病院長は、「みなさんは医療職をめざす大学に入ったので、実習が多いと感じるだろう。しばらくの間は模型やファントムを使った実習で、それからお互いに相互実習をやり、病院にあって臨床実習を行うことになる。病院での実習の前に、基礎的な知識と臨床に必要な最低限な技能を身につけていただきたい。病院としては、みなさんが一人前の歯科技工士、歯科衛生士になれるように沢山のお手伝いができればと思う」と祝辞を述べた。

おわりに新生を代表して歯科衛生学部の谷澤麻美さんが宣誓。列席の来賓、役職者、教員が紹介され、十一時十分閉式した。

短大長等を歴任した。近藤先生は本学五十四回卒、日本歯科医師会副会長等を歴任し、平成二十三年に日本歯科大学校友会会長に就任。学校法人日本歯科大学評議員を務める。

新潟生命歯学部

新潟生命歯学部の部は、四月八日に新潟生命歯学部講堂において挙行された。

定刻午後一時、羽下憲

善事務部長より開式が宣せられ、学年主任の千葉晃教授による入学生点呼、ならびに研究科委員の土持真教授による大学院新潟生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

中原泉学長、関本恒夫新潟生命歯学部長、宮川行男大学院新潟生命歯学研究科長が訓辞を述べた(要旨二面)。新潟生命歯学部入学生を代表して小野哲義君、大学院入学生を代表して羽村章生

東京短期大学

東京短期大学の入学式は、四月十日午前十時

三十分から生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。印出光宏短大事務長が開式を宣し、歯科衛生学と歯科理工学部の入学生、専攻科入学生(歯科理工学専攻・総合理工学専攻・歯科衛生学専攻・口腔リハビリテーション学専攻)の点呼が行われた。

小口春久学長が訓辞を述べた(要旨三面)。ついで来賓祝辞で羽村章生生命歯学部長は、「歯科技

新潟短期大学

新潟短期大学の入学式は、四月八日午前十時

三十分から新潟生命歯学部講堂で挙行された。須貝将紀短大事務部長が開式を宣し、歯科衛生学部の入学生と専攻科生の点呼が行われた。

又賀泉学長が訓辞を述べた(要旨三面)。関本恒夫新潟生命歯学部長は来賓祝辞で、「新潟短期大学は同じキャンパスのなかに新潟生命歯学部、および新潟病院、附属医科病院をもつ大変に恵まれた環境にある。とくに新潟病院では年間十三万人の患者さんが来院している。十分な臨床実習

が可能だ。臨床実習では指導医、指導歯科衛生士、臨床実習歯科医師、そして学部の五年生とチームを組んで診療を行う。最近では社会における歯科衛生士のニーズが急速に高まり、歯科衛生士の雇用率の伸び率は八十一パーセントになった。これは技能者のなかではトップで、雇用の伸び率第一位と言われている。高齢社会が進むにつれて要介護高齢者の数が増加し、一九九三年に約二百万人だったのが、二〇二五年には約五百三十万人に増加すると推計されている。要介護状態では口の中の清掃がおさまりになりや

森田名譽教授 叙勲

近藤先生は本学五十四回卒、日本歯科医師会副会長等を歴任し、平成二十三年に日本歯科大学校友会会長に就任。学校法人日本歯科大学評議員を務める。

近藤校長 叙勲

近藤先生は本学五十四回卒、日本歯科医師会副会長等を歴任し、平成二十三年に日本歯科大学校友会会長に就任。学校法人日本歯科大学評議員を務める。

最新刊 必須ポイントを抜粋した目で見る全身管理入門書

Advanced Side Reader おさえたい全身疾患のポイント

著 近畿大学医学部麻酔科学講座 高杉嘉弘(67回卒)

さまざまな疾患を有する患者に対応するために知っておきたい、全身疾患と患者管理についての必要最小限をピックアップ。多くのイラストや表を用いて、わかりやすく編集。

AB判/カラー/152頁/定価(本体3,800円+税) ISBN978-4-7624-0692-8

学建書院 〒113-0033 東京都文京区本郷2-13-13 本郷七番館1F TEL 03-3816-3888 FAX 03-3814-6679 URL http://www.gakkenshoin.co.jp

中原 泉 学長 訓辞

私が新入生諸君の年頃だったのは、半世紀も前のことになる。中学生時代から私は、誠実、勤勉、努力が大切だと教えられてきた。これが人生の規範であり、人として踏み行すべき道だとされてきた。諸君と同じころの私は大変真面目で、何事も一生懸命やる者だった。当時、これが永遠の真理であって、いつの時代になっても変わらな

いと信じていた。ところが長年人生訓としてきた倫理観がこの十年、二十年前ぐらいから揺れ始め、いとも簡単に否定され、軽侮される状況になった。ある歌手はテレビのコマーシャルで、「幸せになりたいけれど、頑張りたくない、

のだろうか。極めつけは昨年、「努力する人間になってはいけない」というタイトル

ある教育者は若者たちに、「自分に正直に生きなさい」、これは大変な殺し文句だ。若者たちはこの殺し文句にコロリと

イトルで買わせようという本だった。今は誠実でなくても、勤勉でなくても、努力しなくてもいいという世の中になってしまった。もっと言えば、

きた。薬をして汗をかかないで、世の中を渡っていくなんてそれは図々しい、人生に省エネは通

日に何があり、何をしていたかを説明できる。もうお分かりのように、日記を見れば分かる

は、小さな塵を一日ひとつづつ積むだけだから、別に勤勉でなければなら

是非そのことを念頭に置いて励んでいただきたい。医療事故から患者さんを守り、信頼できる歯科

能を持ったとしても、患者さんからあなたに治療してほしいと言われなければ、膨大な知識や優れた技能は何の役に立たない。歯科学生は歯科医

繰り返すが、求められるのは、歯科医学における知識、技能、態度、この三つだ。みなさんは六年間を共にするクラスメイトである。互いに助け合いながら成長していただきたい。to teach or learn twice という言葉がある。教えることは二度学ぶ、という意味だ。わからないことは互いに教えあうことで大きな学びをつくることができる。日本歯科大学という誇り高いブランドを背負っていく仲間として全教員がみなさんの成長を期待している。

歯学部 部長 訓辞

生命歯学部 部長 羽村 章

みなさんは本日から歯科医師への道を歩みはじめた。その職務などは歯科医師法により規定されている。第一条に、歯科

とある。第一条に、歯科医師は歯科医療および保健指導を司ることによって公衆衛生の向上および増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。みなさんは歯科医師となり、世のため人のために

た。ただし歯科医師免許をとることは決して楽なことではない。学校教育法において歯学の課程は六年間と定められている。歯科医師として必要な知識、歯科医療に必要な技術、医療者として求められる態度は六年間をかけて身につければよいわけではない。諸君は四年生の修了時までには、これらの知識、技術と態度を最低限まで獲得していな

ければならない。なぜなら五年生の一年間は附属病院で実際の患者さんの治療を行うため、必要不可欠な知識、技術、態度が備わっていることが証明される

く、内容も濃いため、一般大学のような自由な時間はない。とくに三年生、四年生が非常に忙しい時期になる。新入生のみなさんは一年生のうちに自主的に先を見据えた学習姿勢や日常生活態度を養い、体力もつけておいていただきたい。

人間には得手不得手がある。同級生のなかで自分が得意なところは教え、足りないところは教えてもらう。お互いの関係が大事になる。先輩や後輩から学ぶこともあるだろう。

新入生諸君は、本日から歯科医師への第一歩を踏み出した。みなさんはこのさき六年間、何のために、誰のために勉強していくのだろうか。医療系の大学において勉強する目的は、近い将来出会うであろう患者さんのため

に立った学習習慣が必要だ。学生もわれわれ教員も常に患者さんの視点に立っていることが最も重要である。六年間の間、

勉強する、つまり患者さんのために何をすべきかを常に考え、患者さんの視点から歯科医師としての責任を自覚し、患者さんへの思いやり、その基礎となるマネキンや相互実習のような、シミュレーションによる臨床基礎実習の到達目標をクリアした者のみが臨床実習を許される。多くの知識と優れた技

（4月8日）



中原学長「日々コツコツ、…努力の積み重ねなのだ」



羽村生命歯学部 部長



宣誓する新入生代表(上・東京、下・新潟)



研究科長 訓辞

生命歯学研究科長
八重垣 健

生命歯学研究科長 八重垣 健
本学の大学院は著名国立大学や旧帝国大学に勝るとも劣らない。そのよい例が、大学院在学中にブリティッシュコロンビア大学に三年間留学し研究するプログラムである。本学が滞在費、旅費を負担する。アジアの歯学系大学でこのようなプログラムがある大学院は本学だけである。

世間を惑わすことのない、成熟した研究者を育てるのが大学院である。第二にみなさんが大学院志望にあたって考えたこと、たとえば開業医、大病院に勤めるよりも、社会からみればエリートだからなどと考える学生がいないと思える。そういう学生を再教育し、淘汰すること。第三に四年後の大学院卒業時に、日々強いられる大きな努力と、研究の厳しさに涙を流しつづけ苦勞して獲得した博士の学位

を社会に対し、大いに誇れる研究者を育てることだ。生命歯学部への新入生諸君は、生命歯学部は歯科医師を養成するところだという認識をもっていただくことと思う。しかし本学は世界に誇る学者・研究者を育てるところでもある。手前味噌になるが、口臭物質を使い、ヒトの歯から肝臓をつくって肝硬変を治療するという先端教育を行っている。このような先端教育は本学には数多い。

学部新入生諸君は興味があれば一年生の時から研究室に入り、学部の研究が日本歯科大学である。将来大学院に進学することも念頭に置いて、勉学に励んでいただきたい。(4月10日)

研究を始める各種の試験には正解があった。歯科医師臨床研修においてもこのやり方が適切というものも学んだことと思う。しかし諸君がこれからの四年間でまとめようとしている学位論文の結論に正解は存在していない。なぜならそれは新発見

である、人類史上はじめて諸君自身が見出すものだからだ。指導教授も、このような結論になるだろうと予測はしていても事前に正解は知らない。もし分かっていたら、その研究は行わずに価値がないと判断する。行つた研究結果をまとめた論文の内容が、歯学に寄与

するところが大きいと研究科委員会で認められてはじめて、博士(歯学)の学位が授与される。四年間で学位を取得するのは容易ではないことが理解できると思う。しかし心配は無用だ。指導教授は諸君に最適な研究テーマを示し、ゴールへと続く道しるべを教え、研究結果の分析法に際しては指導教員や先輩たちが力になってくれる。また研究テーマに関連した多数の文献を批判的目目で読むと、最先端の状況や手法を把握でき、論文の書き方も知ら

ないうちに身に付くはずだ。大学院時代には自分の成長を実感できるよくなるので、懸命に努力していただきたい。諸君の先輩たちの博士論文のなかで、一昨年の七編についてみると、国際的影響力の高いインパクトファクター付雑誌に掲載されたものが五編、他の二編も生物医学系で最も権威のあるデータベースに収録された。全員が一流の国

際誌に掲載されるのにふさわしい、学術的な成果をあげていただくことが客観的に裏付けられている。諸君も、本学歯学会発行のOdontologyをはじめとして、インパクトファクターが付与されている一流の国際誌に掲載される素晴らしい研究成果をあげることを期待している。

高いゴールにたどり着くには多くの困難が待ち受けているが、乗り越えるための適切なアドバイスは指導教授をはじめ、いろいろな人たちがしてくれるだろう。是非日々努力して力をつけ、困難を突破したときの大きな喜びと達成感を味わっていただきたい。(4月8日)

生命歯学部 検索

<http://www.tky.ndu.ac.jp>

新潟生命歯学部 検索

<http://www.ngt.ndu.ac.jp>

短期大学長 訓辞

東京短期大学長
小口 春久

東京短期大学長 小口 春久
日本歯科大学の建学の精神は自主独立である。本学に入学した今日からみなさんは学生である。生徒と違って学生は受身であつてはいけない。教材を積極的に用い、自ら

の力で切り開いていかなければならない。これまで与えられた教材を中心としてレベルに乗って勉強してきたと思う。しかし医療従事者はそれだけで十分ではない。大学に入学したからには、自己開発型で問題解決型の勉強を行つてい

く必要がある。教員が教えられることはごくわずかで、勉強とは学生自身が積極的に取り組むものだ。日常の歯科臨床では教科書に書いてない、誰からも教わっていないこともたくさんある。

ときには自ら考え、熟慮の上実践することが必要となる。そのためには幅広い知識、広い視野、鋭い洞察力、深い研究心、溢れる好奇心、卓越した技術が重要になる。多くの人たちに接して多くのことを語り合い、沢山学んでいただきたい。そして、本学は単に専門領域の知識や技術を修得し資格を得る教育ではなく、心豊かな教養人を育てるといふ高い教育目

標を掲げている。そのためにも、学生会、クラブ活動、ボランティア活動などにも積極的に参加してコミュニケーション能力や心身を高め、感性を豊かにしていただきたい。現在、一般大学生の約四十パーセントは、在学中に教科書以外の本を読んだことはない、と報道されている。読書の重要性を再認識していただきたい。読書は娯楽や趣味の範囲を超えて精神的な豊かさのなかに人生をおくことだ。人生の基礎である読解力は新聞や本に親しむことで修得できる。

東京短期大学のキャッチフレーズは笑顔のキャンパスライフである。マザーテレサは笑顔について、「笑つてあげなさい。笑いたくなくても笑うのよ、笑顔が人間に必要なもの、みなさん、今が

楽しい、今が喜びがたまり、今が喜びである」と言っている。学生生活をぜひ笑顔で送っていただきたい。前途多難なみなさん「生涯の旅路」という詩を贈りたい。

「私は私の生涯の旅路において/今日というこの道を再び通ることはできない/二度と通らぬ今日というこの道/どうしてうかうか通つてなろう/笑つて通ろう歌つて過そう/二度と通らぬ今日というこの道/嘲笑されかけがえのない多くの

友だちと師に出会い、専門的な知識技術、幅広い教養、社会人になるための基礎的能力を確実に身につけてほしい。豊かな発想力と未来に挑戦する志をもつリーダーをめざして成長されることを祈念する。(4月10日)

平成26年度 日本歯科大学東京短期大学入学式



小口東京短大長「…心豊かな教養人を育てるといふ高い教育目標を掲げている」



医療職への抱負を述べる新入生代表

医療職への抱負を述べる新入生代表
新入生のみなさん、ホップ・ステップ・ジャンプという言葉がある。ホップはまず一年生、ステップは二年生、二年生の十月から登院に入る。

新入生のみなさん、ホップ・ステップ・ジャンプという言葉がある。マザーテレサは笑顔について、「笑つてあげなさい。笑いたくなくても笑うのよ、笑顔が人間に必要なもの、みなさん、今が

登院というのは、実際に病院にあって、学生が患者さんと一緒に診察とすることが、ジャンプは同じ経験をしながら、これがホップ・ステップ・ジャンプだ。

特に一年生の間は、健康に注意して、体をまっすぐ作ってほしい。二年生、三年生に進級すると、ベスになる体は一番大事になる。学生生活を謳歌しながら、一年生をすすす。それから二年生になると患者さんの実

習になる。医療の分野では、現在歯科衛生士は非常に注目されている。みなさんが入学した時から同時に同じ目標で、国家試験に受かってもらいたいです。この「ホップ・ステップ・ジャンプ」を順調にやっていたらいい。

そして短期大学を卒業したあとに、専門的なことを一年間やる専攻科がある。歯科衛生学専攻はさらに歯科衛生学を学ぶ、新潟短大には今年から在宅歯科医療学専攻と、がん関連口腔ケア学専攻という二つの新しい

の置かれていている立場は、どんどん高くなって、社会的に評価されている。逆に言うと責任が問われる時代になるので、三年後の卒業時のことも頭に入れてこれからの学生生活を有意義に過ごしていただきたい。(4月8日)



又賀新潟短大長「…歯科衛生士の果たす役割は、社会的にも高く評価されている」



新入生代表による力強い宣誓

歯科衛生士は、口腔ケアと在宅診療ケア、がん治療などで、その役割が注目されている。がん患者さん、何のがんでも化学療法で口の中があれしてしまう。それをケアすることで、がんの治療が遂行できる、すなわち医療と歯科が連携していく。そのなかで一番大事なのは、専門的口腔ケアということだ。歯石や歯垢の除去といった、専門的口腔ケアは歯科衛生士しかできない。さらにこれから、独立した業務として口腔ケアあるいは予防歯科医療にかかわる時代がやってくる。今、法令が整備されつつあつて、歯科衛生士の置かれていている立場は、どんどん高くなって、社会的に評価されている。逆に言うと責任が問われる時代になるので、三年後の卒業時のことも頭に入れてこれからの学生生活を有意義に過ごしていただきたい。(4月8日)

日本歯科大 ちいさな歯医者さん

赤坂TBSでママサカス2014開催



……歯医者さんになりませんか……

「家族みんなで子育てを」とことん楽しむ」をテーマにしたイベント、「ママサカス2014」(主催・TBSテレビ事業局)が、三月二十一日から四月六日までの十七日間、東京港区の赤坂サカスで開催された。

本学附属病院(三代冬彦病院)では、子どもたちに歯科を知ってもらい、家庭で実践できる歯科的アドバイスができればと考へて出展することとし、教職員、学生ボランティアを募った。「歯



クイズ歯医者さんに挑戦!よく考えて

医者さんを体験しよう」をテーマに、患者型ロボット「シムロイド」を使った体験や、白衣を着

ての記念写真撮影コーナーを設けた。歯科治療に反応して動くロボットに興味津々の子や泣き出す子、白衣姿のわが子に喜び、夢中で写真撮影に興じるお母さんなど、期間中に千六百人を超える親子が訪れた。

初日には、プログラマーでタレントの東尾理子さん親子が訪れ、シムロイドを体験。白衣を着たご子息の写真がブログにアップされた。翌二十二日には、午後二時から生放送で、タレントの新山千春さん親子が

シムロイド体験をしている姿が放映されるなど注目を集めた。また、歯科講演会・相談会を二回開催。最終日にはステージで、TBS石井アナウンサーの司会で、「歯医者さん」とクイズで勝負し、目指せ!お口の専門家」を開催し、今回の「ママサカス」期間中、最高の盛り上がりで幕を閉じた。

第一回 中山医学大学と交換学生

日本歯科大学では、一九八六年にアメリカのミシガン大学に学生を派遣して以来、アメリカ西海岸のワシントン大学、カナダのブリティッシュコロンビア大学と協定し、毎年、学生の派遣と受け入れを行っている。このたび、アジア台湾

の姉妹校・中山医学大学と交換学生プログラムを行うことになった。このプログラムは、姉妹校への訪問と研修を通して、国際的視野の涵養を目的としている。第一回となる今回は、両学部の五年生のうち、

生命歯学部直江慎也、森信博平、新潟生命歯学部小出勝典、三浦実生子の四君が、三月の春学期休暇中に台中市の中山医学部を訪れた。三月八日に台中市に到着、二十二日までの十五日間、中山医学大学の学生寮に宿泊し、講義の聴講や実習を体験。歯学部と交換留学報告会が開かれた。

い、休日には市内や郊外の珍しい風物を観光した。なお新潟生命歯学部では、訪台した学生により、五月に「中山医学大学交換留学報告会」が開催された。



はい、お口をあけてください…ちいさな歯医者さん診療中

大学院入学生

平成二十六年度の日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生二十三名、新潟生命歯学研究科入学生四名は次の通り。

(生命歯学研究科)

解剖学Ⅰ 我妻由梨
解剖学Ⅱ 福山 完
薬理学 松井美紀子
発生再生医学 望月真衣
歯科保存学 関谷美貴
歯科保存学 吉田和貴
歯科補綴学Ⅰ 植松俊樹

歯科補綴学Ⅰ 田中優香
歯科補綴学Ⅱ 山本早織
口腔外科学 新妻瑛紀
歯科矯正学 森田真央香
歯科矯正学 川嶋優花
歯科矯正学 幸田隆史
歯科矯正学 石橋彩里
歯科矯正学 小松勇輝
歯科麻酔学 安田佑理
歯科麻酔学 荒井俊輔
歯科麻酔学 藤田美也子
歯科麻酔学 村上卓也
歯科麻酔学 漆原あゆみ
歯科麻酔学 塚原理央

臨牀機能学 仲澤裕次郎
(新潟生命歯学研究科)
機能性咬合治療学 渡會侑子
機能性咬合治療学 篠原隆介
口腔全身機能管理学 齋藤芳秀
歯周機能治療学 宮田幸昇

学年主任

平成二十六年度の日本歯科大学生命歯学部、新潟生命歯学部、東京短期

(1)千葉 晃 清水公夫
(2)小泉順一 茂原宏美
(3)竹井利香 宇都宮宏充
(4)葛城啓彰 水谷太尊
(5)寺田員人 高田正典
(6)代居 敬 名生幸恵
村樫悦子

(1)砂田勝久 新谷明一
(2)秋山仁志 青木春美
(3)佐々木裕芳 添野雄一
(4)新井一仁 筒井友花子
(5)小森 成 小川智久
(6)代居 敬 名生幸恵

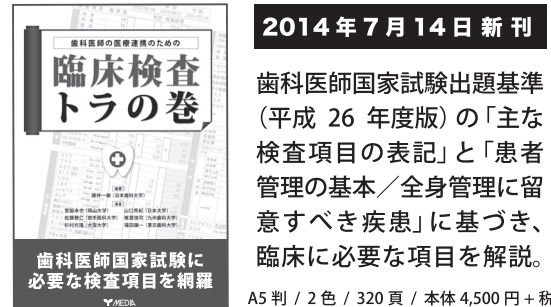
(1)池田亜紀子 小倉千幸
(2)野村正子 関口洋子
(3)市川順子 鈴木 恵
(4)江面 晃 阿部祐三
(5)寺田員人 高田正典
(6)代居 敬 名生幸恵

(1)三富純子 筒井紀子
(2)浅沼直樹 佐藤治美
(3)佐藤律子 菊地ひとみ
(4)葛城啓彰 水谷太尊
(5)寺田員人 高田正典
(6)代居 敬 名生幸恵

臨床検査トラの巻

編著 藤井一維 (日本歯科大学)

著者 宮脇卓也(岡山大学) 山口秀紀(日本大学)
佐藤雅仁(岩手医科大学) 椎葉俊司(九州歯科大学)
杉村光隆(大阪大学) 福田謙一(東京歯科大学)



2014年7月14日 新刊

歯科医師国家試験出題基準(平成26年度版)の「主な検査項目の表記」と「患者管理の基本/全身管理に留意すべき疾患」に基づき、臨床に必要な項目を解説。

A5判 / 2色 / 320頁 / 本体4,500円+税



台中の中山医学大学



病院診療室



中山の白衣はコレ!です



台湾の原住民「九族文化村」観光